

# 笑顔に 支えられて

去る五月、風邪をこじらせ声が出な  
いまま二週間。筆談やジェスチャーで  
切り抜けたが、PTA総会では困りは  
てた。挨拶の言葉が声にならず参会の  
方々に失礼してしまった。皆様の驚く  
顔・・・。「静かな会」と言われ学校に  
おける私の使命を痛感したものである。

児童や職員と話し分かり合い励ます  
こと、保護者や地域の皆様と話し学校  
を理解していただくこと、これが私の  
使命であって、言葉のない私は人格の  
大半を失ったも同然という思いに駆ら  
れたのだ。使命について述べたが、私  
にとって学校とは、集う皆が協働して  
教育に当たり集結された力がより大き  
な力を発揮するところ、また職員室と  
は笑顔の職員が子どもについて話し合  
い、何よりも授業について切磋琢磨す  
る場でなければと、その実現に努めて  
きた。

赴任し本校の学校教育目標「元氣  
いっぱいさわやか笑顔」に出会った時  
の感動！笑顔の学校づくりを決心し邁  
進してきた。今、児童や職員・保護者

もこの目標のもと、笑顔で協働する姿  
を散見する。笑顔の不思議な力を実感  
しているのは私ばかりではないと思う。  
教職に就いた理由は、母校での教育  
実習にある。今では考えられないが  
「任せるよ」の一言で指導教官は一年  
七組と英語の授業を二週間、殆ど私の  
自由にさせてくださった。面白くて企  
業へという考えは雲散霧消。その時の、  
研究授業は今も記憶に新しい。英語を

## 教育随想



西区 植水小学校長  
清水典子

選んだ理由は母にある。大戦後の占領  
下、私の七五三に母・姉と三人の和服  
姿は珍しく、氷川参道で米国の兵隊さ  
んに囲まれた。母が応じチョコレート  
をもらって大感激。小学生の夏には、  
家族総動員でお手伝いさんやお針子さ  
んもバス一台で湘南へ。殆ど車がない  
時代に我家の貸切バスと進駐軍のジ-

プが何故か接触。母がバスから押し出  
され、心配顔の居並ぶ所へ笑顔で戻っ  
た。母の手にはまたもチョコレー  
ト・・・。女学校で習った「有難うは  
タンキュー」程度の英語を話す母だか  
ら、外国の方にも人間同士何とか通じ  
る、と切りぬける精神だったに違いな  
い。そんな母に似た私・・・。

さて、教員として三十八歳の秋、文  
部省派遣で欧州へ。訪問校で通訳する  
私に「日本の先生は英語を話さないが  
大学出か」のきつい言葉！「筆談な  
ら！」と咄嗟に言えませんが代表団！  
英語の筆談が花盛り！だが、これが日  
本の英語教育の現実かと・・・。帰国  
後、授業改造。指示も文法も授業は英  
語で。すると生徒は柔軟に忘れてくれ  
て、私のおしゃべりは倍速・加速の一  
途！また、市教委六年間に貴重な経験  
の数々を。特に、市の緑化事業紹介に  
建設局長随行でスペインへ。ビデオや  
スライドを駆使しプレゼンと質疑応答  
を英語で終えた充実感！

そろそろ、世界で奮闘中の教之子や  
友人に会いたいと思う昨今だ。皆様の  
笑顔に支えられた三十八年間に心から  
感謝したい。

(しみず のりこ)